

NPOまつり2021@新宿 みんなのNPOプロジェクト 協働サポーター要項

20210906改定

※実施要領は本事業の性格上、随時改定致しますので、随時ご確認くださいませようお願い致します。

1. 協働サポーター設置目的

コロナ禍などで新たな社会課題に気付いたNPOが、その解決に向けて新規のプロジェクトや事業を着想し、いざ具体的な行動に進もうとしても、多くのNPOは、人員体制、資金、諸手続、手法などについて、いろいろクリアしなければならぬ状況に直面します。

そのとき、直面する問題の解決に力を貸してくれる外部パワーが、本NPOまつり参加者のための協働サポーターです。

想定される活動上の課題と解決サポートにはいろいろあります。

- ①着想した活動の成功への道筋について、予想される躓きを未然に予測し、その回避方策のアドバイスをプロボノから受ける。
- ②活動を効率的に進めるための体制や陣容について専門家や組織基盤強化のアドバイスを受ける。
- ③活動資金を寄付をベースに確保するためにクラウドファンディング事業者のサービスを導入する。
- ④地域での活動を展開する上で、対象地域とつながる糸口を探す。
- ⑤同じ目的をもつ他の社会貢献団体や企業とつながりを築くためのきっかけイベントに参加する。
- ⑥若い世代とともに活動を行うために大学生などの次世代との顔合わせをしたい。
- ⑦社会や地域に大きなインパクトを与えるための事業計画を作り、融資も受けてみたい。

など。

現在、新型コロナウイルス感染が世界的に蔓延する中、コロナ禍で気付かされた社会の弱点を克服しようと、多くの事業や取組が創造されようとしています。

これらの優れたアイデアを迅速かつパワフルに実現するため、協働サポーターの力を上手に活用していただければと思います。

2. 協働サポーター参加団体

センターまつりに協賛頂き、協働サポーターとして、参加プロジェクトへの支援いただく団体のジャンル（交渉中団体を含む）は以下の通りです。（2001年8月30日現在）

- ・プロボノ支援団体
- ・クラウドファンディング運営団体
- ・助成団体
- ・法務系プロボノ、行政書士会、
- ・ソーシャルビジネス応援金融機関
- ・CSR企業
- ・大学
- ・社会福祉協議会
- ・商店会連合会

など（※各ジャンル別サポーターリスト詳細は別紙を参照ください）

3. 支援対象プログラム

NPOまつり期間中に協働サポーターの支援を受けられるプログラムは次の2つです。

【A部門：協働型スタートアッププロジェクトチャレンジ（いまこそチャンス！）】

※募集対象：社会貢献活動団体（広義のNPO）

【B部門：コロナ禍を生きぬく活動ここにあり】

※募集対象：社会貢献活動団体（広義のNPO）

4. 全体スケジュール

NPOまつり2021の全体スケジュールはNPOまつり@新宿みんなのNPOプロジェクト募集要綱を参照ください。

5. A・B部門への応募要件

- ・民間NPO活動団体、CSR活動企業、地域活動団体、ボランティア団体、その他社会を良くするために尽力されている非営利の社会貢献団体。活動エリア、ジャンルは問いません。応募の際に、活動内容が分かる参考資料等のご提出をお願いします。（※別添、参加応募書を参照）
- ・本企画の趣旨に合わない、コンプライアンスや社会通念上疑問があるなど、活動主旨や内容によっては、参加をお断りする場合がございます。
- ・各部門の募集予定数
A部門 30企画
B部門 200活動
- ・応募は数人以上で構成する団体を対象とします。個人単独での応募はできません。

6. 応募に際しての注意事項

- ・プロジェクトは、社会貢献目的かつ非営利なもので当センターの設立ポリシーに抵触しないものを指します。
- ・プロジェクト実施に関わる費用は各参加団体自身でご負担下さい。
- ・各プロジェクトの収益は各団体の帰属とします。有償オプションサポートの費用はこの収益から経費として支出願います。
- ・資金調達、行政手続き等の最終的な実施は各団体の責任において行ってください。
- ・協働サポーターへの相談は、初回はNPOまつり事務局に連絡の上、また第2回以降は個別に進めてください。
相談を受けられるかどうかの判断も含め、相談は各サポーターの定める方法で行ってください。協働サポーターの事業にそぐわないなどの理由でお受けできない場合もありますのでご承知おきください。
- ・協働サポーター団体が日常的に行っている支援サービスや、当NPOまつり以外で取り組んでいる支援プログラムもありますので、そちらもご活用いただきながら、当イベントに参加することも可能です。
- ・プロジェクトの権利は各団体に帰属しますが、広報等、発表の権利は主催者も持てることとします。
- ・雇用、保険など各プロジェクトに関わる責任は各出展団体が持つこととします。

【特典】

- ・期間中センターが定める方法で各プロジェクトの作業会場として当センターを無料で使用できます。（会場、利用日時は予約制。なお、協働利用であることとし、一団体の占有使用はできません。占有利用をご希望の場合は通常の有料貸出ルールに基づきご利用下さい。）
- ・プロジェクト成功のためのアドバイスやサポートを協働サポーターから受けることができます。
- ・各プロジェクトのPRサポートを受けることができます。

7. 応募方法

参加は無料です。

参加応募書に必要事項を記入の上、以下のメール宛またはFAXでお申し込みください。

送付先 e-mail : hiroba@s-nponet.net FAX :03-5386-1318

新宿NPO協働推進センターNPOまつり事務局

※ご不明な点、内容ご相談などのつきまはしてはeメールにより、以下の問い合わせ先までお気軽にお送りください。内容を確認し回答を返信させていただきます。

照会先：新宿NPO協働推進センターNPOまつり事務局（担当：西郷） 電話03-5386-1315

Eメール：hiroba@s-nponet.net

ジャンル別 協働サポーター一覧 (交渉中団体※含む)

※現時点で、当NPOまつりのためにご協力いただく予定の協働サポーターは、交渉中も含め以下の通りです。サポーターは随時追加、変更する可能性があります。更新状況は随時ホームページ上でお知らせします。

※初回はNPOまつり事務局を介して面談頂き、2回目以降は直接相談するようにしてください。

※協働サポーター団体が日常的に行っている支援サービスや、当NPOまつり以外で取り組んでいる支援プログラムもありますので、そちらもご活用いただきながら、当イベントに参加することも可能です。

A. 活動資金調達に関する相談

(1) 寄付金、クラウドファンディング

本イベント期間内で、助成金、補助金、委託事業費などを確保することが困難な場合、即効性のある活動財源確保には、「寄付」が有効です。中でもクラウドファンディングによる寄付金は、機動性、短期性があり、十分に検討に値する資金調達手段です。各団体ごとに支援メニュー等が異なりますので、いくつか比較検討されることをお勧めします。また、このサービスを活用することにより、PR体制の見直しや活動の広報手段の再構築なども強化がすすむ可能性を持っています。

- ① キャンプファイヤー
- ② グッドモーニング
- ③ レディフォー ※交渉中

(2) 社会的活動団体への融資、事業計画づくり

(ソーシャルビジネス、コミュニティビジネスへの融資)

社会課題解決を社会事業としてとらえ、ビジネスベースで相応の規模で構築しようとするのであれば、大口の融資を検討する必要があります。ソーシャルビジネスの支援は国の施策の一つであり、融資上もいろいろ支援メニューがあります。また、身近なまちや地域内で行う事業型の社会活動にコミュニティビジネスがあります。ソーシャルビジネスよりも規模は大きくないですが、ビジネス手法を取り入れる点では同様です。これら事業には、地元の金融機関が応援体制を組んでいます。

- ① 日本政策金融公庫新宿支店 (日本公庫)
政府系金融機関。NPO団体への優遇融資やソーシャルビジネスへの支援を得意としています。
- ② 第一勧業信用組合
社会貢献活動への支援や融資を事業の柱に据えている地域金融機関。
融資相談に留まらず事業計画づくりのサポートも。
- ③ 西武信用金庫
コミュニティビジネス支援の民間金融機関の草分け。
NPOへの融資を積極的にすすめる民間金融機関。

(3) 助成金

当イベントへの応募は、当イベントで試行を試み、次年度の助成募集に応じるという活動も対象とします。これに関連した各団体への事前相談も受け入れて頂く予定です。

1) 民間助成

- ① トヨタ財団

2) 公的助成、補助

※情報収集中。

B. プロボノ（事業企画、運営、技術サポート等）への相談

スタートアップ活動に限らず、事業企画・運営、マーケティング、技術やデザインの相談などが社会貢献事業にも必要となりますが、多額の報酬や相談手続きなどから、十分に外部資源の活用を図れないのが、多くの社会貢献団体の悩みです。このような時に、専門能力を用いて応援してくれるのが、プロボノです。プロボノをしたいプロボノワーカーと社会活動団体とをつなぐ、次のような団体が相談にのっていただけます。

- ①サービスグラント
- ②二枚目の名刺 ※交渉中
- ③プロボネット ※交渉中
- ④一般社団法人神楽坂サポーターズ

C. コンプライアンス、行政手続きに関する相談

新規の活動を始める時に、関連法規や制度に抵触して、後々大きなトラブルに遭遇することが時々発生します。また、最近では、知財の取り扱いを巡る訴訟や個人情報漏洩などの問題も目立ち始めています。

法律、制度、諸手続き、契約、権利などのへの疑問を事前に払拭して、安心して活動を進めていくために、次の団体や専門家が相談にのっていただけます。

- ①BLPネットワーク
- ②東京都行政書士会新宿支部

D. 地域連携

地域や地域団体への密着型の社会貢献活動を始めるには、行政窓口の他、日頃から地域に根付いた活動を行っている団体からアドバイスを受けることが効果的でしょう。当NPOまつりでは、開催地である新宿区域を中心に次の団体が相談にのっていただけます。

- ①新宿区商店会連合会事務局
- ②新宿区社会福祉協議会

F. 次世代連携

若い世代との連携を図る活動や、活動場所を探している学生さんたちの相談には次の団体が相談にのって頂けます。

- ② 早稲田大学社会科学部
- ② 日本財団学生ボランティアセンター（ガクボ）

G. その他

その他、当イベント期間中、随時、協働サポーターへの参加を募っていきます。このような団体に相談したいなどのご要望があれば、事務局までご相談ください。